

## イワクラサミット in 宮崎に参加して

畔蒜・仲田

霧で飛行機が少し遅れましたが、千葉から生まれて初めての宮崎空港にたどり着きました。また霧が漂っていて周りの山々は霞んでいました。でも、空が大きくて神様が降りてきそうな土地に来たなあと感じました。会場の西都原博物館はピラミッドのような真新しい立派な建物でした。そしてイワクラサミットの一日目が始まりました。

須田さんと鈴木先生のトークショウはまさにイワクラ漫談。素人は興奮してシャッターは切るものの巨石はいつも写真に収まりきれなくて、後で見るとどの石だったかわからなくなったりしますが、さすがプロ、須田さんの写真はいつ見ても美しく、石の力強さ、崇高さが伝わるようです。

夜は恒例の懇親会。いつにない大人数で動き回ることではできませんでしたが、初めてお会いした方ともすぐに親しくなり、話をしたり石の写真を見せていただいたりするうちにあつという間に時間が経ちました。

田舎の夜は早いので、語り足りない飲み足りない方たちが部屋に集まってきました。暑い宮崎で狭い部屋に10人以上も集まって、ワイワイと意見を交わしていました。若者も元若者も、瞳の輝きは同じです。同じくイワクラに興味を持つ仲間との不思議な連帯感が心地よくて、午前2時過ぎまでおいしい焼酎で大いに盛り上がりました。

二日目も会場にバスで送っていただき、サミットです。

この道何十年の筋金入りの方たちばかりの中で、実際にイワクラにはまっつて現地に行き始めたのは数年前という私たちには少し難しいところもありましたが、興味深く講演を拝聴しました。発表の後は、銀鏡神楽を見せていただきました。初めての経験ですが、神様に奉納するということは半端じゃなく大変なことなのだと思います。これを一日以上続けるなんて、どういう精神状態でいれればいいのでしょうか。

そして三日目。やはり私たちが何より楽しみなのは現地調査です。個人的に歩き回ると違い、地元の方や専門家の方に気軽に質問したり、一緒に歩いた方たちと話をしながらイワクラを巡るのは本当に楽しいです。たくさんの方の目で見るとまた違った新発見（？）があつたりするのも醍醐味です。

最後になりましたが、至れり尽くせりのお世話をしていただいた宮崎文化本舗の谷口さんと、心のコもった

手料理を作って下さったり、お世話になった地元の皆様にも心から感謝いたします。本当にありがとうございました。夢のような3日間でした。

(畔蒜・仲田)